

水土里ネットちば

Chiba Prefectural Federation of Land Improvement Association



第14回 写真コンテスト入選作品「手をつないで」

2009
WINTER

No.282

CONTENTS

新年のご挨拶	1
農業農村整備100年・千葉県土連創立50周年 記念式典を開催	3
袖ヶ浦農地・水・環境保全ふれあいフェスタを開催	5
千葉県農業大学校の学生及び受講生・研修生の募集	8
第12回千葉の水回廊ウォーク&疏水百選 印旛沼ウォークのご案内	9

新年のご挨拶 食料自給率の 向上を目指して

みどり
水土里ネット千葉
(千葉県土地改良事業団体連合会)

会 長 菅 谷 健 一



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また昨年は、本会創立50周年を迎え、記念行事を催しましたところ、会員の皆様を始め関係各位にはご多忙の折ご臨席いただき、祝意を賜りましたことに対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界的には米国発サブプライム問題の余波を受け、巨大企業が経営破綻するなど、世界経済が低迷。わが国でも株価の暴落や自動車業界の不況に象徴されるように、著しく景気が後退した激動の1年でありました。明るいニュースとしては、北京五輪で多くの日本人選手が活躍したこと、中でも平泳ぎの北島選手が世界新で金メダルを、ソフトボールが米国を破りこれも金メダルを獲得しました。また、ノーベル賞では4人の日本人が受賞したことでしょうか。

農政分野に目を転じますと、昨年末に来年度予算の一次内示が行われましたが、農業農村整備事業では5,772億円、前年度比86.4%と依然として厳しい状況であります。

国際的に食料価格が高騰し、食料需給が不透明な状況にある中で、わが国の食料自給率40%という低水準に約8割の国民が不安を抱いております。わが国の食料自給率を高めるためには、意欲と能力のある担い手を育成して、農地の面的集積を進め、その有効利用を図ることが何よりも重要であります。そのためには、農地情報の共有化を推進するとともに、農業施設の適切な整備更新を図り、農業用水の安定供給を確保することが求められるところ です。

安心で安全な食料を安定的に消費者に供給するため、地域農業の発展と活性化のため、さらに、美しい景観にあふれた国土の形成など多面的機能を維持するために、水土里ネットが「水」「土」「里」という地域資源を担うリーダーとして、ご活躍されることを期待しております。

終わりに、今後とも関係機関のなおい層のご指導、ご支援をお願いいたしますとともに、会員各位の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とします。

新年のご挨拶 危機を好機に とらえる



参議院議員

佐藤 昭郎

水土里ネット千葉の皆様2009年 新年あけましておめでとうございます。
ご家族と一緒に穏やかな正月を、あるいは職場の皆様との仕事始めを、それぞれお迎えになられたものと拝察申し上げます。
さて、2009年の我が国経済社会を巡る内外の状況は、極めて複雑多岐であり、土地改良にとっては、危機を好機にとらえる発想の転換が必要です。
まず、昨年10月米国発サブプライムローン問題に端を発した100年に一度の世界規模の金融経済危機は、特に、地方における今後の景気後退や雇用悪化問題の本格化が懸念されますが、公共事業費の思い切った増額による需要の創出が、重要な政策手段となります。
また、地球規模での食料・エネルギー価格の高騰、事故米、冷凍ギョウザ事件など輸入農産物の安全性問題は、改めて、食料や水の安全保障や国内農業生産の重要性について国民の理解を深めました。
さらに、昨年からの京都議定書第一約束期間（2008-2012）がスタートしましたが、地球温暖化問題への対応は、環境技術立国への「国のかたち」の変革を求めています。
WTOドーハラウンドにつきましても、10年に及ぶマラソン交渉の大詰りを迎えることとなりましたが、重要品目、関税割当等の事項で、我が国の主張が成立するかどうか予断を許さぬ状況です。
ここ何年間かの世界の貿易や地球環境の状況は、国境なき自由貿易を至上とした10年前のドーハラウンドのスタート時点と全く様変わりしていますので、閣僚会議の延期は、農業農村の多面的機能を重視した新しい農産物貿易ルールを主張する好機でもあります。
さて、国政における対応策ですが、政府・与党として、まず、補正予算により、燃油・肥料高騰対策を行い、さらに、今後二次補正と21年度予算、及び通常国会提出予定法案等により、米価安定対策、水田フル活用、「農地改革プラン」等の政策を打ち出し、実行してまいります。
中長期的には、平成20-24年度をカバーする「土地改良長期計画」を、また、今後1年かけて10年後に自給率50%を目指す、「新たな食料・農業・農村基本計画」を策定すべく、政府・与党一体となって徹底論議を行う予定であります。
一方で、昨年来、地方分権推進委員会を中心に、地方切り捨てにもつながりかねない拙速とも思える改革案が地域、受益者の不安を増大していますのでこれへの対応をしっかりと行って参ります。
2009年は、まさに内外ともに激動、激流が予測される1年ではありますが、以上述べてきたように、逆風を利用して、危機を好機に変えるチャンスでもあります。そのためには、現場・行政・政治の連携、すなわち「情報を共有して、役割分担してことに当たる」基本を再認識すべきであると考えます。
その一例として昨年11月に、自民党本部において「農村基盤整備議員連盟」の総会が行われ、全国8ブロックから出席された土地改良区代表の意見発表に続いて熱心な質疑が行われ、①基幹的な水利施設は国が責任を持って整備すること ②地方負担軽減措置を行うこと等5項目からなる決議を採択し、自民党3役、農水大臣、財務大臣、総務大臣へ要請活動を行いました。1月召集の第171国会は残念ながら引き続きネジレ国会ではありますが、政治主導の中で、皆様の地域・土地改良区の声を具体的な政策に反映できるよう私も全力を尽くす所存です。本年が皆様に、またご家族にとりまして、素晴らしい年でありますように。 以上

農業農村整備100年・千葉県土連創立50周年

農業農村整備100年・千葉県土地改良事業団体連合会創立50周年記念式典が、昨年11月5日午後4時30分から、千葉市中央区・京成ホテルミラマールで開催され、関係者約280名が出席のもと、土地改良功労者を表彰するとともに、先人の功績を労い農業農村整備の新たな飛躍を誓い合った。

さらに式典終了後には祝賀会が開かれ、苦労話を語り合うなど記念行事にふさわしい盛り上がりを見せた。

◇平成20年は節目の年

平成20年は農業農村整備にとって、耕地整理法制定110年、水利組合法制定100年の節目の年、また、千葉県土地改良事業団体連合会は創立50周年を迎えた。これを記念して県土連会員はもとより、県土連OBや県OB、関東農政局、全国水土里ネット、千葉県、県議会等、広く関係者を招いて記念行事が盛会に行われた。



菅谷健一 会長

◇会長式辞

八角文雄副会長の開会の辞の後、菅谷健一会長の式辞では「発足から半世紀を振り返ってみると、決して平坦な道ばかりではなかった。今日県土連があるのは先人諸賢のたゆまぬ努力と、関係各位の暖かいご支援とご協力の賜、県土連を代表して敬意と感謝を申し上げる。農業農村を取り巻く環境は、わが国経済の発展とともに著しく変貌し、その時々課題に応じて新たな施策が次々と発表され、これらの実現に向けた多様な事業が展開されてきた。今日の農業は、米の価格低迷に象徴されるように経営的に厳しい局面を迎え、農村社会は耕作放棄地の増加、農業者の高齢化・担い手不足に悩み、水利施設の多くが一斉に老朽化が進み、更新の時期が集中している。国と地方の厳しい財政状況と公共事業の抑制の中で、いかに少ない投資で施設の機能を維持し、長寿命化を図ることができるか、ということが大きな課題となっている。厳しい環境にあるが、農業農村は安全な食料を消費者に安定的に供給するとともに、豊かな自然、美しい景観にあふれた国土の形成など、地域社会に計り知れない貢献を果たしている。今日の繁栄を築き上げてきたのは、先人の方々の情熱と努力の歴史を忘れることはできない。土地改良の歴史を回顧し、本日ここに多数のご来賓や土地改良にかかわられた皆様にご臨席を賜り、農業農村整備100年・県土連創立50周年の節目の年を迎えることは、新たな前進の糧として誠に意義深いものがある。」と述べた。

◇土地改良功労者表彰

会長式辞の後、表彰式が行われ、全土連会長の感謝状を佐藤準専務から受賞者代表の千葉県畑地かんがい地区連合会長中上昭喜氏に授与。また、県土連会長表彰状を菅谷健一会長から代表の夷隅中部土地改良区理事長吉野勝己氏に授与された。

全土連会長感謝状

千葉県畑地かんがい地区連合会
//
野田市木野崎土地改良区
山武郡中央土地改良区
茂原市新治土地改良区
袖ヶ浦市平川東部土地改良区
香北土地改良区

顧問 加藤 和
会長 中上 昭喜
理事長 斉藤 正一
前理事長 (故) 小池政信
理事長 常泉 仁
理事長 注連野昌志
総務課長 古林 玄一

千葉県土連会長表彰状

市原市加茂土地改良区田代工区
利根土地改良区
千葉県根木名川土地改良区
佐原市石納野間谷原土地改良区
千葉県干潟土地改良区県営ほ場整備事業清濁Ⅱ期支区
両総土地改良区
両総土地改良区管理委員会茂原支部
夷隅中部土地改良区
南房総市千倉町川戸土地改良区
梶山環土地改良区

工区長 平田 照雄
理事長 鈴木 利男
副理事長 海保 正
理事長 高木 基一
支区長 石上 二郎
事務局長 鶴崎 勝善
総括監事 立石 隆
理事長 吉野 勝己
理事長 吉田 毅
理事長 本忠 瑞穂



受賞者のみなさん

(敬称略)

*** 記念式典を開催 ***

水土里ネット千葉 総務部



森英介 法務大臣

◇来賓祝辞

来賓祝辞では、森英介法務大臣（前県土連会長）が、「わが国の食料自給率は40%という低水準で推移している。世界人口が確実に膨張する中、自国の食料自給率を高めることは、わが国の安全保障に深くかかわる重要な問題、土地改良事業はコメ作りや畑作など、農業生産基盤に不可欠な農業用水の安定供給や維持管理を行うことにより、安全な食料を安定的に供給するわが国の農業に大きく貢献している。土地改良関係者の皆様が、土地改良事業の成果や重要性について、消費者にアピールしていくことは、誠に意義深いこと。農業・農村を取り巻く環境は厳しい状況が続いているが、菅谷会長の手腕と、役職員の絶えざる努力により何とかこの難局を乗り切って、千葉県土連の更なる発展を期待する。」と結んだ。

続いて、丸山和彦関東農政局次長、白戸章雄千葉県副知事、浜田穂積県議会議長、佐藤準全土連専務理事が祝辞を述べた。



丸山和彦
関東農政局次長



白戸章雄
千葉県副知事



浜田穂積
千葉県議会議長



佐藤準
全土連専務



豊川忠幸 副会長

◇農業農村整備のあゆみ

式典も終盤に近づいたころ、豊川忠幸副会長が、水利開発と耕地整理の歴史などについて、「総の国の水土とともに」と題したパンフレットにより説明、「人々は棚田や谷津田を拓き、利根川や江戸川・小櫃・養老・夷隅・小糸などの川を治め、緑豊かな豊饒の地としてきた。これは、必ずしも天賦のものでなく、総の国の人々が英知を尽くして農地や用水開発をおこなった賜である。」と熱く語られた。

◇閉会

林和雄理事が出席者に対しお礼を述べ閉会の辞で1時間余の式典の幕を閉じた。

地域一体となった 活動組織を目指して！

袖ヶ浦市では、平成19年度からスタートした「農地・水・環境保全向上対策」について、地域ぐるみでの効果の高い共同活動の推進、また活動組織が行う活動について円滑に実施できるよう市内における活動組織及び市役所、JAを構成員とし、事業の効果的かつ円滑な推進に資することを目的として、平成19年12月に「袖ヶ浦市農地・水・環境保全向上対策協議会」を設立しました。

主な活動としては、各種会議を始め、事業制度の改正等があった場合、合同による勉強会の実施、活動に関する情報交換を行ってまいりました。

しかしながら、各活動組織では地域を保全するための様々な取組が実施されているにも係らず、その内容についてはあまり知られていないのが現状であり、協議会で話し合った結果、この様々な取組みを更に周知することで、農村集落の魅力を広く一般の方々に伝えていければとの意見で一致しました。

これを受けて、広報啓発事業の一環として、「袖ヶ浦農地・水・環境保全ふれあいフェスタ」を去る、平成20年11月22日（土）に開催いたしました。

当日は、雲1つ無い絶好のお天気に恵まれ、11月にしてはとても暖かい最高の日和となりました。オープン以来、盛況の続く農畜産物直売所「ゆりの里」の人気にあやかるとべく、隣接する袖ヶ浦公園第二駐車場を会場としました。

市長、県議等を初めとするご来賓の皆様方を迎え、午前10時から開会式を執り行いました。

美しいふるさとを受け継ぐ子供達を代表して地元の小学校に通う長谷部智紀さんと、井上一磨さんの二人による元気な開会宣言で幕を開けました。

開会式から、会場内は溢れんばかりの人山となり、主催者としてはひと安心といったところでしょうか。

主な催しとして、各地域での取組みを紹介することを目的として、活動組織別ブースを配置し、各地域での特色ある活動を紹介しました。

また、各地域からは来場者に地域の農産物や、その農産物を使った食物が振舞われるなど、来場者には美味しいと好評でした。

また、農村に伝わる伝統芸能を披露し紹介す



開会式の様子



長谷部くん、井上くんに元気に宣言してもらいました

ふれあいフェスタを開催しましたー

袖ヶ浦市農地・水・環境保全向上対策協議会

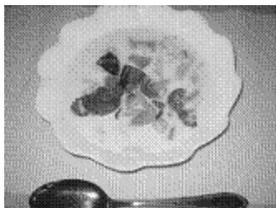
るために、袖ヶ浦市指定文化財である神納神楽ばやし保存会による、神楽の舞、本事業にも参加している野里地区から野里太鼓保存会による、お囃子の演奏が行われ、会場は神楽の舞や太鼓の音により、お祭りムード一色になりました。

市では、米消費拡大のPRとして、今話題となっている米粉を使った米粉パン及び米粉シチューを来場者に配布しました。

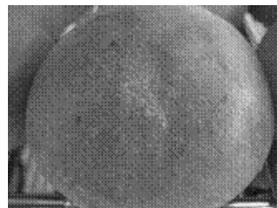
試食された方々は非常に美味しいと好評であり、是非、自宅で試してみたいとの声を多く聞きました。



米粉パン・米粉シチューには多くの方が並びました



米粉シチュー



米粉パン

今回の「袖ヶ浦農地・水・環境保全ふれあいフェスタ」開催に際しましては、千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会のご協力を頂き、この事業に関する制度を説明するパネル展示、また来場者に対する意識調査を実施しました。



来場者は農産物を使った食べ物に舌鼓を打っていました



神納神楽ばやし保存会



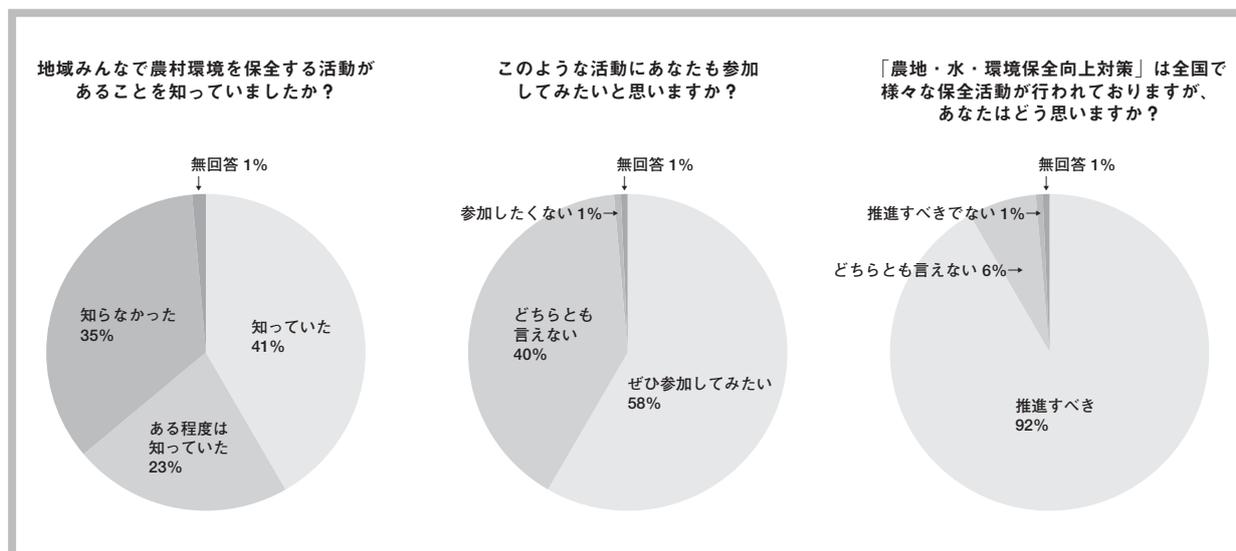
野里太鼓保全会



来場された方々はPRパネルを熱心に見学していただきました。

一袖ヶ浦農地・水・環境保全ふれあいフェスタのアンケートを実施しましたー

単純なアンケート結果ですが、その結果は非常に興味深く、アンケート総数340件において、以下の結果となりました。



まず、最初の質問では、地域みんなで農村環境を保全する活動があることを知っていましたか？という質問ですが、おおよそ6割以上の方々がこの事業を知っていました。しかしながら、まだ3割以上の方が知らないという現実もあることから、今後、更なる広報、啓発が必要であると思われます。

続いての質問は、この農地・水・環境保全向上対策に参加してみたいですかという質問ですが、おおよそ6割の方が参加したいと回答されました。

しかしながら、その一方で4割の方がどちらとも言えないと回答しており、地域活動への参加に迷っているという現実も垣間見えます。

最後の質問は、ずばり「農地・水・環境保全向上対策」の今後について、質問したものでありますが、9割とほとんどの方がこの事業を推進すべきという回答いただき、保全活動の必要性を感じられているようであります。

このアンケートの結果が全てとは言えませんが、地域で行われている地域保全活動は確実に地域住民の意識の中に広がり、理解を得ているものであると思われました。

今回の「袖ヶ浦農地・水・環境保全ふれあいフェスタ」の開催については、各活動組織から実行委員を選出し、みんなで考え企画を行う手作りのフェスタとなったことで、活動組織間の結束がより一層深まる形となりました。

このフェスタの成功を契機に、今後、多くの方が活動に気軽に参加できるような組織づくりを目指して参ります。

平成
21年度

千葉県農業大学の学生及び 受講生・研修生の募集

一般入試

農業のスペシャリストを目指す、千葉県立の農業大学の学生を募集します。

- 募集人員……B日程 農学科約10名 研究科若干名
- 受験資格……農学科：高等学校を卒業した者又は21年3月卒業見込みの者
研究科：都道府県の農業大学の農学科等を卒業した者
又は21年3月に卒業見込みの者等
- 選考期日……B日程 平成21年3月2日（月）
- 選考場所……千葉県農業大学校
- 選考方法……農学科：国語、農業科学基礎・生物I・化学Iから1科目、面接
研究科：作物学・園芸学・畜産学・農業経営学から2科目、面接
- 願書受付……B日程 平成21年2月13日（金）～平成21年2月23日（月）
（土、日曜日を除く）
- 合格発表……B日程 平成21年3月10日（火）
- 申込み・問合せ

千葉県農業大学校
〒283-0001 千葉県東金市家之子1059
TEL 0475(52)5121 FAX 0475(54)0630
ホームページ：<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

就農準備講座（前期）

土曜日を利用して基礎的な農業知識の習得と農作業を体験する「就農準備講座（前期）」の受講生を募集します。

- 対象
将来、県内で農業に取り組もうとする方
- 日程
5月16日（土）から7月4日（土）までの
毎週土曜日（研修回数8回）
- 場所
千葉県農業大学校
- 受講料
無料（教科書代、傷害保険料、校外視察費等は
別途実費が必要です。）
- 募集人員
15名
- 募集期間
平成21年3月2日（月）から4月10日（金）

農業者養成研修

野菜や花きの栽培に関する講義や実習を通じて、農業技術の習得を目指す農業者養成研修生を募集します。

- 対象
将来、県内で農業に積極的に取り組もうとする方
- 日程
基礎コース（3ヶ月）
研修期間
平成21年4月10日（金）から6月30日（火）
専門コース（6ヶ月）
研修期間：
平成21年4月10日（金）から9月30日（水）
- 場所
千葉県農業大学校
- 受講料
1ヶ月3,300円（教科書代、傷害保険料、
校外視察費等は別途実費が必要です）
- 募集人員
各コース10名
- 募集期間
平成21年2月2日（月）から2月27日（金）

就農準備講座・農業者養成研修
についての申込み・問合せ

千葉県農業大学校研修科（JR東金線 求名駅より徒歩30分）
〒283-0001 千葉県東金市家之子1059
TEL 0475(52)5140/FAX 0475(54)0630
ホームページ：<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

第12回

千葉の水回廊ウォーク & 疏水百選 印旛沼ウォークのご案内

花見川－新川－印旛沼の水回廊は、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」の道筋です。

印旛沼は、私たちの生活や国土を潤す「みずのみち」として先人によって築かれたもので、日本の「疏水百選」に認定されました。この悠久の道につながる水辺、桜、花木、水田風景、野鳥の声など心地よい自然に触れながら歩きを楽しみましょう。

(1) 実施日…平成21年4月5日(日曜日) 雨天決行

(2) 歩行内容 (雨具、帽子、昼食、健康保険証などは各自ご持参ください。)

	40kmコース (認定距離40km)	20kmコース (認定距離22km)	10kmコース (認定距離12km)
集合場所	新検見川公園 (JR総武線新検見川駅 徒歩2分)		
集合時間	8時 [出発8時15分]	9時 [出発9時15分]	
ゴール	京成酒々井駅前 (JR酒々井駅徒歩9分) ◎受付は13時30分 ～17時迄	北総線千葉ニュータウン中央駅前☆ ◎受付は12時30分 ～15時迄	大和田排水機場 (京成大和田駅徒歩12分 京成勝田台駅徒歩15分) ◎受付は11時30分 ～13時30分迄
歩行方法	コース地図と矢印標識を見ながら各自のペースで歩く自由歩行です。 なお、10kmコースでは、周辺の農業施設等の解説を聞きながら歩く、ガイド付き団体歩行の予定もあります。		

★コースについては、地図を参照してください。

★大和田排水機場では、農産物の販売(水土里ネット印旛沼)や(独)水資源機構千葉用水総合事業所主催の「さくら祭」が開催される予定です。

☆北総線千葉ニュータウン中央駅(20kmコースゴール)から千葉方面へは、新鎌ヶ谷駅で乗換えて新京成線(津田沼へ)または東武野田線(船橋へ)を利用できます。

(3) 参加費・・・500円(コース地図、完歩証、傷害保険料、飲料水、農産物など)

(4) 参加申込・・・当日、会場で受付します。
水土里のガイド付き団体歩行の受付も当日、会場で行います。(先着50名様)

(5) 免責範囲・・・参加者は事前に健康診断等を受けて、万全の体調のもとに、参加してください。
万一事故が発生した場合、主催者は保険による適用範囲以外の責任は負えません。

(6) 問合せ先・・・ちば歩こう会 TEL080-3421-0267(担当 田口)
水土里ネット印旛沼 TEL043-484-1155(担当 小倉)
千葉県印旛農林振興センター基盤整備部
TEL043-483-1131(担当 鈴木、宮本)

謹賀新年



本年もより一層の
ご指導ご支援を
賜りますよう
お願い申し上げます

平成二十一年



千葉県土地改良
事業団体連合会

会長 菅谷健一
副会長 八角文雄
常務理事 豊川忠幸
外 役員一同

第52回通常総会を開催

本会の第52回通常総会を下記のとおり開催します。

年度末で何かとお忙しいとは存じますが、
会員の皆様のご出席をお願いします。

日時 平成21年2月25日(水) 14時～

場所 千葉県土地改良会館 4階大会議室
(千葉県美浜区新港249番地5)

水土里ネットちば 282号 (平成21年1月26日発行)



発行

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
〒261-0002 千葉県美浜区新港249番地5
TEL.043-241-1711(代)/FAX.043-248-2563(代)

印刷

株式会社ニッセイアド
〒264-0026 千葉県若葉区西都賀4-18-3
TEL.043-206-7752/FAX.043-206-7753